

十一月十日

昨日、室内編集部三砂君より送ってもらった山本夏彦さん処女作「年を経た鰐の話」冒頭部を読む。山本さんらしい本だなコレワ。十時表参道、浜野安宏事務所。

関岡英之君が文芸春秋に主論文を書いている。興味深い。山口先生と連絡、明日訪問を決める。

十時浜野氏と打合わせ。表参道を原宿まで歩いて帰る。北京Pは表参道全体のスケールだな。十二時過研究室。打合わせ。十三時教室会議。内公聴会等。十六時前迄。グライター・バウハウス建築大学教授来室。トラベリングユニバーシティーの件。十七時共に東大へ。十八時前、技術と歴史研究会。内田祥哉先生にお目にかかる。一九時四〇分迄レクチャー。内田先生これ迄の作品を紹介して、今建築をどのように考えているかについて、プレストレストコンクリートの仕事を中心に話された。J・ブルーベがメタルでやった仕事を、コンクリートでやっていたのだと思った。型枠の地域での使いまわしを試みたかっただという実感は、考えようではブルーベが工場を持つ必要を感じたのと同じである。生産的地域主義への芽があったのを考えさせられた。レクチャー後、宮本で会食。内田先生八十三才。元気だ。実に足早に歩くのにも仰天した。二十二時三〇分修了。内田先生と京王線桜上水迄一緒に帰る。二十三時三〇分世田谷村帰着。内田祥哉先生の仕事を私なりに要約すると、少量多品種の生産スタイルを潜在的に志向していた仕事であったように思う。

十一月十一日

七時起床。昨日は良く歩いた。という感が残るって事は最近いかに歩いてないという事だ。要注意だ。今日は朝、山口勝弘さん訪問。絵本の話しをまとめる方向を見つけた。銅版画一枚（ヒマラヤを歩くアンモナイト）持参する。十時前多摩プラーザでTVディレクター矢野氏渡辺と落ち会い、山口さん訪問。絵本の話少し進展する。これは私にとって絵本づくりだけの事ではない。山口勝弘先生も真剣に取り組み始めてくれている。進もう。十一時過迄。十二時前、多摩プラーザ駅のコーヒーショップで矢野氏と話して散会。十三時前うどんを食べて研究室に戻る。

十五時三年設計製図採点。前期の流れからはチョツとは持ち直したかな。十八時迄。二十一時前世田谷村。バウハウスとのトラベリング・ユニバーシティー計画は来週から早速学生募集を開始する。